

令和6年6月15日
北関東フォーラム
於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム
令和6年度 第6回

金融緊急措置令と渋澤栄一の1万円札

おはようございます。皆さんのお手もとに新聞のコピーをお配りしています。昭和21年2月17日の毎日新聞1面です。「インフレ防止の緊急令出づ」「今日から預金封鎖 一般引出を禁ず」「生活資金（世帯主月300円 世帯員100円）は支払う」と見出しがあります。金融緊急措置令が出され、その日から銀行に預けてある自分の預金はおろせなくなったという内容です。

インフレ防止のために緊急令を出したとありますが、建前です。背景については触れていません。実際は、外国から借金している金を返さなければならない、その財源として政府は一般国民のお金をあてにしたということです。

おまけに、こういう法律を作ったことを本日知らせると同時に、今日から実施するという内容です。出し抜けに銀行預金が封鎖されたということを、この新聞は明確に表しています。但し、生活資金として月300円を世帯主に、奥さんや子供さんは1人当たり100円支払うとあります。夫婦と子供1人の家庭なら、 $300+100\times 2$ ですから500円です。

なぜこの新聞をご紹介したかということ、だんだんきな臭くなってきているからです。渋澤栄一の新1万円札が7月3日に発行されます。40年前、福沢諭吉の1万円札が出た時も、やはり金融緊急措置令のことが話題になりました。渋澤栄一の1万円札がそろそろ出るということで、金融関係の方やお金を沢山持っている人たちは、かなり神経を尖らせているのが昨今です。

大体の方は金融機関にお金を預けておられると思います。もし、金融緊急措置令のようなものが出たら、預金口座は封鎖されます。これは、今まで私が話をしても夢物語みたいなもので、右から左に聞いて忘れる類のものです。ただ、7月3日とだいぶ近づきましたから、再度申し上げておかなければと思ってお話しています。今回も福沢諭吉の時と同様、おそらく大きな騒ぎにはならず坦々と進んでいくのだと思います。

ただ氣をつけなければいけないのは、先ほど村井理事が開会挨拶で言われた通り、メディアは信用できません。そう申し上げる理由は、メディアは政府の考え方を忖度して、政

府が知られたいものには国民に知らせないようにしています。政府は、国民が気付くのを先延ばしにしたいものについては、政府がいま何をやっているか目くらましをかけたいわけですからメディアに期待しているのだと思います。ですからメディアは国民が知るべきものとは違う方向へ、違う方向へと国民を誘導します。そういうことを意識していただきたいと思います。

例えば、農業基本法が改正されました。その中身について新聞をじっくり読みましたが、肝心なことは何にも書いていない。テレビでも若干取り上げられましたが、必要なことは一切解説をしていません。これはどういうことでしょうか。

今朝の新聞には、「日銀総裁が金利を上げると匂わせた」という記事が出ていました。それも解説らしきものはありますが、肝心な中身がない。メディアに登場する専門家も皆、目くらましの話しかしていません。

社会の木鐸となるのがメディアの基本的な姿勢のはずです。それなのに、国民が知らねばならないことを知らせない。明確にメディアの中身が変わったのだと思っています。

肝心なことは、先ほど村井理事も言われたように、自分の頭で考えて自分で判断し、納得をする。そう思って新聞を見ると、いくつかそれが分かるようなことが書いてあります。ちなみに、私の学生時代の後輩で、朝日新聞を定年退職された方が東京フォーラムにビジター参加しておられます。その方曰く、「我々にもそれなりの考えがあるし、言いたいこともある。我々の矜持としては、半年くらい前に、真剣に考えれば何となく伝わるような記事を書いている」のだそうです。ですから大変な問題が起きたら、半年前の新聞を見直せば、何かしらのメッセージが隠れているとの事です。

もう一つ、村井理事が開会挨拶で、論語に重複して出ている章句を挙げておられました。

○「巧言令色、鮮きかな仁」・・・耳ざわりの良いことを言おうとする人の話は、注意して聞かなければいけない。

国民にとって耳ざわりの良いことを一生懸命しようとするのは岸田さんですから、岸田さんの言うことは、腹の中と口に出すものとは正反対だと思って聞けばよろしいでしょう。国民のために定額減税をしました。皆さんのために企業にお願いして、今月はいくら減税したと分かるような書き方をしました。皆さんのためにやっております・・・などと。嘘をつくなと思います。歴代の総理大臣ならもう辞めているでしょうが、そうでないのは、余程アメリカが裏で押しているのだと私は推測しています。岸田さんの目は日本国民ではなく、アメリカに向いていると思います。自分の命綱はアメリカだと思っているからでしょう。

○「己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ」・・・自分の欲していないことを人にや
ってはいけない。

岸田さんが言い出したことによって、各企業が社員の給料明細にいくら減税されたか印
字する手間暇、費用がどれだけかかっていることか。そんな換算もしないで、口からポン
と出ただけではないかと私は感じます。

偶然にも来月発行される季刊誌「知足」に、木内孝顧問が創刊準備号に寄稿された文章
を掲載します。その中で木内顧問は、GDP（国内総生産）がどのように計算されている
か、疑問を投げかけておられます。木内顧問からの宿題だと感じますので、どうぞ皆さん
もお調べ戴きたいと存じます。出来れば次回、こういうことだったのか！という驚きみた
いなものがあれば発表して下さい。代表幹事には、時間の中で組み入れて戴くようお願い
します。これはディスカッションとは少し違う形になりますが、そうやって論語を今に活
かして戴ければ有難いと存じます。

それから、もう一つ代表幹事をお願いします。というのは、中斎塾フォーラムで話した
内容について、私以外に予習復習をどれだけの方がしているか少し疑問です。やはり、予
習復習はした方が良いと強く感じます。皆さん方に、予習をしてきたらこうだったとか、
復習をした感想等、会員発表の時間に入ると良いなと思っています。

今は凄まじい変化の時代です。もしも地球に意志があるとすれば、人間に少し変化を与
えようとしているので、どんどん変わったことが今現在起きているわけです。中斎塾フォ
ーラムもどんどん新しいことを考えて、手を打って参りましょう。

天風哲学に学ぶ心の持ち方

レジュメに入る前に、東京フォーラムでお話した天風先生に関する話を北関東フォーラ
ムでもご紹介します。

九段にある平安堂という筆や墨硯を扱うお店のご主人、岡田久次郎さんが舌がんになり
ました。どう手当をしてもあと少ししかもたないだろうと判断したお医者さんが、久次郎
さんを天風先生のところに連れてきました。そのお医者さんは長沢博士という東京警察病
院の元内科部長で、天風会の会員でしたから、天風先生に楽に死なせてやってくれるよう
頼んだわけです。

天風先生が見ると、久次郎さんにはまだ相当なオーラが残っていました。オーラがどう
いうものか私は分かりませんが、天風先生は「私達のように第三の眼を持った者でなけれ

ば分からない」と後日語っているのです、そういう能力を持った方が複数おられるのでしよう。

天風先生は久次郎さんに、「お前は、あと三月と誰かと約束したわけじゃねえんだろう。俺がまた生きられるだけ生かしてやろう。ただな一言断っておくが、今度は諦めろと言ったら往生しろ」と言い、本人も「結構でございます」と返事をしました。

久次郎さんは天風先生に、酒が飲みたいと言います。長沢博士はとんでもないと止めますが、天風先生は「ああ、飲め。1本飲んでいいよ」と言うので、青菜に塩のようだった久次郎さんは喜び勇んで帰りました。

それから暫くして、天風先生のところに久次郎さんと奥さんがやって来ます。天風先生が「どうだい、飲んでいるかい」と聞くと、久次郎さんが「はい、一本飲んでいます」と答える。横で奥さんが笑っているのを訳を聞くと、なんと一升瓶だというわけです。

好きな酒をたらふく飲んで、薬も注射一本も打たなかったけれども、気がついたら3年半も経っていた・・・というところで話が終わっています。

平安堂は今でもありますから、実際に伺って、その先を聞いて来ようと思っています。

ここで肝心なことは何か、天風先生が後に述懐しています。すなわち、今の医学はガンを治すのに局部しか見ないから駄目なのだ。肝心なことは心の持ちようである。心の持ちようを俺の教える通りに実行すれば、悟れる。悟ったなら、治る。・・・それが心身統一道法であると、『いつまでも若々しく生きる』という本の後半に細かく書かれています。

天風先生は右胸に大きな穴が開いているから、本来は早く死んでおかしくはないわけです。ところが92歳まで長生きしています。天風先生の言われるように、心の持ち方、ものの考え方、生活の仕方を改めれば、かなり健康長寿でいくのではないかと思います。

もう一つ、心の持ち方で良い結果につながったという逸話を紹介します。

木挽町にある上総屋という染め物屋の娘さんが17歳の時、腸結核に罹った。腸結核は死亡率の高い、非常に感染力の強い病です。医者が、到底見込みはないけれども死ぬ時の苦痛が思いやられるので、天風先生に見てもらいたいと頼みに来ました。

天風先生が出かけていくと、娘さんが天風先生に「先生、私、助からない？」「大谷先生（医者）がお母さんに言っていたのを聞いたのよ」というわけです。天風先生は「お嬢ちゃんは腸結核じゃないから、安心をし」と答えますが、娘さんは信じません。そこへ母親がアイスクリームを持ってきたので、天風先生は名案を思いつきます。腸結核でない証

拠に、娘さんにアイスクリームを食べさせ、同じ匙で天風先生が食べて見せました。娘さんは自分は腸結核ではないとすっかり安心し、治ってしまったという話です。

後日談で、その娘さんが62歳になって、天風先生を訪ねてきたそうです。娘さんにすれば天風先生は命の恩人ですから、本当に腸結核だったのだとは言えなかったそうです。天風先生は人間の観念の力を信じて、うつるわけがないと信念をもってやった。それで娘さんも死なずにすんだというわけです。

余談ですが、先日、真向法の先生に幸福の三大ホルモンを教えて戴きました。一つはセロトニンです。安心ホルモンと言われ、心が穏やかになるそうです。これは日光浴によって作られるので、太陽が出ている時に15分程度散歩をすれば心の安定が得られるそうです。二つ目はドーパミンです。これは達成感を感じた時などに分泌されるもので、快感ホルモンと呼ばれます。三つ目は、オキシトシンです。これは、人から親切にされたとか、自分が親切にした時などにホッとすると、幸せホルモンと呼ばれるものです。人間は、こういうホルモンを体の中で作り出す能力があるわけです。

一方、人間の身体は幸せホルモンを作り出すと同時に、人を殺すだけの猛毒も作るようです。以前お話したことがあります。安岡正篤先生の本にあるのはアメリカの科学者が発表した実験で、人間が吐く息を試験管に詰めてマイナス何百度で冷やしていくと液体になり、最後に滓がたまる。怒り狂った人の息では、栗色の滓になるのだそうです。それを溶かしてマウスに注射すると、すぐに死んでしまった。成分を調べると、60人が殺せるほどの猛毒だったということです。

ですから人間の身体は、幸せも作るし、猛毒も作る。人間とは凄まじいものだなと思います。

陽明学を学ぶⅢ

それでは中身に入りましょう。陽明学に関してお話するのは3回目、今回でとりあえず一区切りとする予定です。繰り返しになりますので、さっと概説を致します。

王陽明は57年間の生涯でした。その当時の中国は、官僚になるには科挙という試験に合格しなければ採用されませんでした。陽明は何度か落ちて、28歳の時に合格します。中央の官僚としてそれなりに出世街道を上っていったけれども、正義感が強く、37歳の時に左遷されてしまいます。当時の中国の役人は腐敗しきって賄賂が横行している状態ですから、そういうところで長いものに巻かれない正義感を持っていれば、当然ぶつかるわけです。

左遷された陽明は論語を一生懸命勉強しますが、自分が習っている朱子学がどうもおか

しいと苦しみ藻掻いて、「龍場の大悟」と言われる悟りを得ます。そして47歳の時、「伝習録」（孔子で言えば「論語」にあたる）を出しました。

王陽明は文武両道の人物です。文は科挙の試験に合格するほどの素晴らしい頭脳を持ち主でしたし、武は国家に反逆する賊を戦場で自分が先頭に立って討伐し、功績をあげました。ただ、功績をどんどん上げると周りから妬まれ、足を引っ張られるわけです。そういう一生を送るものだから持病が悪化して、国家を転覆させるような賊を平定して帰る船の中で、57歳で亡くなりました。

陽明の死後、お弟子さんたちが陽明の教えを広げました。その後、陽明学は大輪の花を日本で咲かせたと言えます。

陽明学の言葉

陽明学における肝心な言葉を五つ挙げました。

①立志

志を立てることです。これが一生涯を貫くような志であれば、凄まじいものです。立志はいつでも良いのです。小さい時に志を立てても良いし、大人になって、或いは死ぬ間際に志を立てても良い。

先日、福島さんから戴いたハガキに「朝晩、真向法をやっている。真向法にはまっています」と書いてありました。「はまっている」というのは、まだ立志まで行っていません。立志とは、全身全霊をかけてひたすら全力投球する。寝ても覚めても、ずっとそのことだけを考え続けるような志が、立志です。陽明先生は、志を立てたならその人の人生は決まったようなものだと言っています。

例えば、富沢さんが政治家になりたい、政治に携わりたいと志を立てたなら、それがどのくらい強いのか、その強さによって市議なのか、県議なのか、或いは赤い絨毯なのか・・・ということになると思います。

②知行合一

思ったら、行動しなければいけません。本気で思うわけですから、思ったら行動する。行動の裏打ちのあるものが、知るということです。人さまに話をする時、行動の裏付けがなければ、やはり片手落ちになります。話、半分になる。ですから私は、先ほどの平安堂の話も上総屋の話も、実際に行って調べるつもりです。

③事上磨練

日常生活の中で自分を磨いているという自覚があるかどうか、お考え下さい。はっと気がついたら一日終わっていたというのではなく、自分は今、磨かれている最中だ、修行中だと思えば、事上磨錬がもっと効果が出ると思って下さい。

更に、何か困った事があつたら、これは天が自分を鍛えようとしてくれているのだと思う。そういう考え方でいけば、事上磨錬は現実のものになってきます。

④四句訣

一は心の体、二は意の動、三は良知、四は格物致知です。これは前回も申し上げました。陽明学は四句訣ですべて言い表せると、陽明先生は言っています。

後世、三島中洲が大正天皇（当時は皇太子殿下）に四句教を講釈されたところ、殿下は大層気に入られ、書にして欲しいと頼んだそうです。そして、その書を額にして飾られたということで、四句教が広がったという話があります。

⑤致良知

字だけを見れば、良い知識を致す（行動に移す）ということです。良知とは何か、これは曰く言い難しで、良いと思う事だとお考え下さい。ですから、良いと思う事を実行しましょう、というのが普通の解説になります。

安岡正篤先生は、良知を阿頼耶識と捉えました。阿頼耶識とは、心の奥深くにある本物の智慧、そういう意識になります。

したがって、陽明学とは何か？ 私の思っている陽明学を一言で申しますと、＜良いと思ったら実行する＞です。実行すると身体で感じる。身体で感じて、これだ！と思うものが身体の奥深くから吹き上がってきたら、それが良知です。何も吹き上がってこなかったら、まだ良知に至らずだとお考え下さい。

恒例の質問

では、恒例の質問に参ります。今年も半年経ちました。

- 半年、良い日がずっと続いている方
- 嘘は比較的つかなかった方

「嘘はつかれなかった」という質問は、もう致しません。国家同士が嘘をつき合っているのですから、嘘を耳にしない日はありません。

- 有難うとずっと言い続けている、有難うとも言われ続けている方
- 身体の手入れをやり続けている方

ご自分で、このくらいまでは生きよう！と思ったなら、それに向かって進まれると良い。それも立志になります。

○自分磨きをよくやっていると思う方

○昨晚眠る直前、明日は良い日だったと思って寝られた方

私は最近、寝る時に「明日は良い日だった」と思ってから、「今日はどうだったかな？」と考えて、「明日は良い日だったって、昨日そう思って寝たよね・・・」と思い出すと、「その通り」という言葉が浮かんできます。ちょっとした言葉のあやになりますが、そういう自覚しております。

時代の流れ —デジタル社会—

時代認識として、私は今、相当きな臭い世の中になったと思っています。日銀総裁も金利アップに対して言及するようになりました。金利が上がったらどういう事態が生じるか、それが頭の中にならずと渦巻いていたので、冒頭で毎日新聞の金融緊急措置令の記事を紹介したわけです。

それに伴い、皆さんに GDP（国内総生産）を調べて下さいと申し上げました。どうやって GDP の指標は測られるのか、日本はなぜ 30 年間も酷い状態が続いたのか・・・自分で調べると、おやっと思うはずですよ。

これから世の中はもの凄く変わります。今現在、変わっている最中です。第四次産業革命が進行中で、そのキーワードは AI だと私は思っています。前回のフォーラムでチャット GPT を活用しているかをお聞きして、手を挙げた方に話を聞かせて貰いました。今後仕事をする上で、また生きていく上で、AI を使わない手はありません。スマホが使えない人、AI が使えない人は取り残されます。極端な言い方をすれば、終わりですよ。

先日テレビを見ていたら、ケーキ屋さんがどんどん潰れているというニュースが流れていました。昨年と比べて倍以上も潰れているそうです。理由は、値上げが出来なかったからです。これを普遍すれば、値上げの出来ない会社は潰れる。明確に、そういう時代に入りました。これを体で感じないと、会社は潰れると思っています。

シムックスでは次年度の計画の中に、自動ロボットを購入する予算が組み込まれていました。ビルメンテナンス事業がありますから、掃除ロボットの購入を検討しているようです。最近出来たスーパーで掃除ロボットが動いていたという話を聞いて、すぐに見に行きました。そうしたら、人が動かすような大きな掃除機が自動で動いていました。やはりこれも現物を見ないと話になりません。

陽明学は行動です。行動することによって、単なる知識が本物の知識に変わります。そのように陽明学をお使いいただければよいと存じます。

現在の経済についても、自分で体験・体認しないと、本物の知識・智恵に変わりません。経済は凄まじい勢いで動いています。少しでもおやっと思ったら、即行動して、我が知識に変えていただきたい。そう申し上げて、本日の講話を終了致します。